

4月2日(土)

10:00 宮城県 気仙沼市 気仙沼市立気仙沼小学校



昨夜、遅くに東京を出発。一度、岩手県は一ノ関へ。数時間の睡眠と食事を摂り国道284号を東へ。気仙沼小学校の体育館。ここは、高台になっているので津波の被害は、全くなく自衛隊の皆さんも多く待機していました。発生から約2週間。体育館の中には、安否確認の掲示板やボランティアも募集あり。外では、県外や更には、外国から来ているボランティア団体もあり多国籍の炊き出しが振舞われていた。ここ気仙沼小学校にも党に託された物資をお届けしました。

11:10 宮城県 気仙沼市 気仙沼消防署南町出張所 気仙沼警察署南町交番前



気仙沼小学校から北に下ったここは、海より100mほど内陸の場所。避難所の体育館でも街中でも被災された方から直接お話を伺います。道は、自衛隊の皆さんの活動により浸水している所以外は車両が通行可。

11:20 宮城県 気仙沼市 気仙沼お魚いちば 付近



総重量720トンの大きな船が陸に打ちあがっていた。津波の恐ろしさを知る。震災当日の夜、火の海だった気仙沼湾がすぐで、岸には、数隻もの舟が、火で真っ黒に焼け焦げたままで浮かんでいた。

13:30 宮城県 本吉郡南三陸町 歌津地区



- 1 枚目 後方に写っているのは、国道45号の橋脚。
- 2 枚目 道端に撤去された瓦礫の中には、写真などの思い出も。

14:00 宮城県 本吉郡南三陸町 志津川地区



津波の被害でよく取り上げられていた4階建てのマンションと南三陸町の防災庁舎。

14:20 宮城県 本吉郡南三陸町 ベイサイドアリーナ



南三陸町で最大規模の避難所。
南三陸町社会福祉協議会の災害ボランティアセンターも設けられていた。

15:00 宮城県 本吉郡南三陸町 旭ヶ丘コミュニティセンター





宮城6区選出の小野寺五典議員も駆けつけてくださいました。ここ旭ヶ丘コミュニティセンターは、小さな公民館で丘を下り志津川の町を挟んだ反対には志津川小学校と中学校があり、そちらには、多くのボランティアが入っているようだったが、こちらは、ほとんど物資が入らないようで、助かった近所の住民の方々を含め炊き出しを召し上がっていただきました。旭ヶ丘コミュニティセンターは陸の孤島と化していて、電気ガス水道のライフラインは全くなく発電機とプロパンガス、三枚目写真の右後ろに写っている新潟市水道局からのタンクのみで夜は寒くて真っ暗でした。

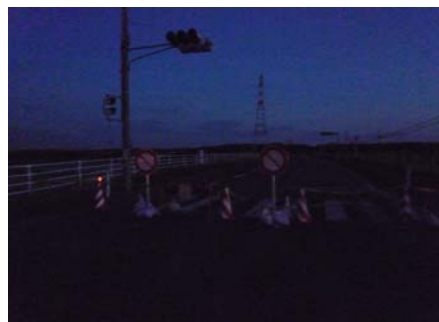
4月3日(日)

11:00 福島県 南相馬市原町区 南相馬市役所



ボランティアの方々にも炊き出しのお手伝いをいただきました。南相馬市の桜井市長にも召し上がっていただきました。

18:00 福島県 南相馬市原町区 国道6号線(原町区大甕付近)



これより先、20km。東京電力福島第一原子力発電所がある。ここより先は、瓦礫の撤去もされておらず立ち入ることが困難な状況。車のライトを消すと真っ暗で静かで不気味な感じでした。

4月23日(土)

16:00 福島県 双葉郡 広野町-檜葉町

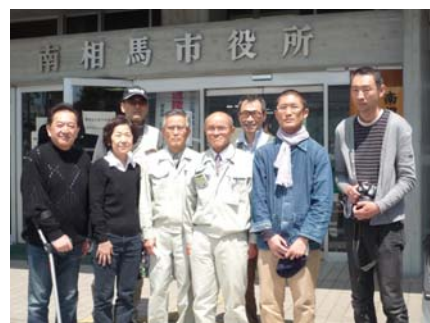


先日の北側20 kmより東京電力福島第一原子力発電所を挟んで40 km、発電所から南側に半径20km地点。1枚目は、常磐自動車道いわき四倉付近。次の広野ICより先は、原子力災害特別措置法により通行止め。

2枚目の立ち入り禁止は、J-VILLAGEの裏で陸前浜街道(国道6号)よりわき道に入った付近。

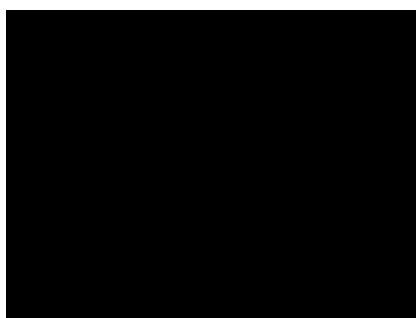
4月24日(日)

10:00 福島県 南相馬市原町区 南相馬市役所



いつも炊き出しで協力くださっていた(有)アジアランチの山口健司代表取締役からパクチー募金を託され南相馬市に義援金としてお渡し。三枚目の写真は、パンラボと言う都内一円のパン屋さんの集まり。桜井市長と一緒に市役所の前で。

11:20 福島県 南相馬市原町区 ビジネスホテル六角



東京電力福島第一原子力発電所から北に20kmと数百mのところにあるビジネスホテル。ご主人の大留隆雄さんのご好意で、近隣の避難所に入れなない難民を受け入れ物資の配給をしている。

我々もこの場をお借りし写真に写っている2tのレンタカーで東京から持ち込んだ物資や飲料とパン、衣料をお配りさせていただきました。

11:50 福島県 南相馬市原町区 南相馬市立原町第二中学校

震災から1ヶ月が経っても避難所での食事は、大変に質素で缶詰や冷たいお弁当が殆んどです。裏庭では、別のボランティア団体がバーベキューの炊き出しをしていました。

12:00 福島県 南相馬市原町区 南相馬市立石神第一小学校

石神第一小学校。ここでもパンと飲料を全員に直接お渡し。
門の辺りの、見事に咲いた桜の花びらが散っていました。周辺にはまだ満開の木もあり、被災地にもちゃんと春が訪れるのだと感じました。
最後の二枚の写真に写っている介護車両。介護タクシーを5台所有していたうち奇跡的に残った1台だと。その名も、「絆」。おじさんは、この1台で再び事業を始める決意を話してくれました。

13:30 福島県 南相馬市鹿島区 南相馬市社会福祉協議会ひまわりデイサービスセンター

2階建ての施設の狭い部屋に何人もの方が、避難されていたらしいです。
こちらでもパンと飲料を全員に直接手渡ししながら、いろいろなお話を伺うことが出来ました。

14:30 福島県 相馬市 国道6号相馬バイパス付近

南相馬より北上し、相馬市でも新地町に近い辺り。
1枚目には、新地発電所と瓦礫の山。

15:30 宮城県 亶理郡亶理町 亶理町佐藤記念体育館

県を跨ぎ宮城県は亶理町へ。
ここは、ボランティアや物資の受け入れ態勢が、素晴らしく整っていました。
我々も事前に物資の予約をして落ち込みました。役場の総務課安全対策班の方と物資担当の阿部様には、お世話になりました。
ボランティアスタッフも統制ができていて体育館には、きちんと整理された物資が、所狭しと積まれていた。

16:30 宮城県 亶理郡亶理町 亶理町立亶理小学校

掃除など日直が決まっています、食事の配給も手伝っていただきました。
他のボランティア団体も入っていましたが、今晚のメニューはおむすびと八宝菜に缶詰でした。